街路樹等（高木）管理に関する特記仕様書

１ 適用の範囲

この仕様書は街路樹（高木）の剪定等を行う場合に適用する。

２ 目的

美しい都市景観の維持や樹木の健全な育成を促すことなどと共に、樹木の持つ樹種特有の美しさ、街路樹の並木としての統一美を発揮させることをめざす。

本委託においては、樹種ごとの特性や樹形、樹勢、生育環境、周囲の環境、他の道路施設や占用物件等により制限される樹木の生育可能空間等を考慮した上で、適切な剪定等によって、樹形の作り直し（樹形再生）を含め、美しく樹形を整えることを目的とする。

３ 剪定計画（管理目標樹形と剪定方針）の提出

受託者は、路線毎または、まとまりのあるエリア、ブロック毎に、当該街路にふさわしい管理目標樹形、剪定方法や時期に渡る剪定計画等の剪定方針（以下、剪定計画という）を検討し、担当職員と協議の上、**剪定計画書（様式－1）**を提出し、それに従い剪定作業を行うこと。

４ 剪定作業について

受託者は、剪定等作業に先立ち、街路樹路線内の標準的な樹木を対象に街路樹剪定士の指導のもとに見本剪定を行い、市担当職員の確認の上、手本となる樹形を決定し、これを路線の標準樹形として剪定を行う。

５ 樹木の健全度について

定期的な巡視時や作業時に樹木(高木）の異常を発見した場合は速やかに監督員に報告し、**異常のある樹木**について、**街路樹等点検報告書（様式－2）**にまとめ、報告すること。

６ 提出書類について

受託者は、次の書類を作成し検査時に提出すること

⑴剪定計画書

⑵街路樹等点検報告書（提出期日は8月末頃）

【様式－1】

剪定計画書

路線名							
樹木名				本数			
設定値・管理の方針	目標樹形						
	目標方法	剪定回数		夏剪定		冬剪定	
		剪定時期					
	管理方針						
	目標理由						
	問題点						

空間条件（剪定前の状況）

車道幅員		歩道幅員		高圧線高			
沿道状況		ｸﾘｱﾗﾝｽ		低圧線高			
植栽間隔		車道から幹までの幅		光ﾌｧｲﾊﾞｰ高			

目標樹木設定

現況樹木値	樹高		枝張		幹周	
目標樹木値	樹高		枝張			
作業内容	時期					
	工法					

標準樹現況写真	剪定計画図

業者名			
作成者		作成年月日	

【様式-1】

街路樹等点検報告書について

街路樹等の中には樹木の老木化が進み、巨木化や周辺環境の悪化による生育不良、強剪定等が原因の腐朽菌による樹木の空洞化などにより、倒木等の危険が高まっている。
このため定期的な巡視時や作業時に樹木(高木)の異常を発見し、未然に危険を回避するため、異常が発見されたものについて、報告すること。

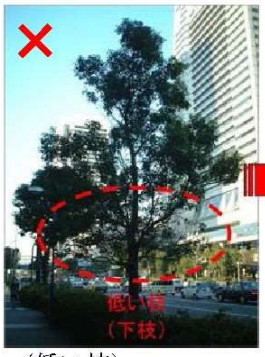
主な異常点検項目は下記のとおりです。
報告内容については異常項目、場所、発見日時、写真、対処方法等

1　枯木・枯れ枝

（枯木）

（太い枯れ枝）

2　低い位置の枝（建築限界以下の枝）



（低い枝）

（正しい樹形）

3　樹木の傾斜・不自然な揺らぎ

←樹木（幹）が縁石より市道側へ出ていると市に当たる危険があります。

また、手で押した程度で揺れる樹木は根が腐っている可能性があります。

4　幹や根元の大きな腐朽、空洞（うろ）

←幹周の長さの1/3以上が空洞（うろ）になっていると倒木、幹折れの危険性がきわめて高くなります。

5　キノコ（ベッコウタケ、コフキタケ）

←ベッコウタケ（黄色いキノコ）は根を急速に腐らせる怖い木材（材質）腐朽菌です。6～8月頃によく見られます。

←コフキタケ（コフキサルノコシカケ）なども要注意です（通年）。いずれも樹木を腐らせ倒木の原因になります。

6　根による舗装の段差（根上がり）

←根の生長によって出来る歩道の大きな段差は、歩行者の転倒事故の原因になります。

←土砂流出による植樹桝の段差、特に歩道の中央部にあるものは要注意です。

7　その他（記述による）

空洞調査については、木槌等による打診調査を、その他については目視を基本としますが特に低木植え込みの中や根の状態を注意深く観察してください。
調査中、緊急を要するような危険木を発見した場合は区役所監督員に速やかに連絡すること。

【様式－２】

街路樹等点検報告書

路線名	

番号（位置）	樹木名	異常番号	症　状	対処方法	発見日時
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					

業者名			
作成者		作成年月日	

＊位置図及び写真を添付すること

【様式-1】

剪定計画書（記入例）

路線名	岡山モモタロウ線街路樹			
樹木名	タイワンフウ	本数	45本	
設定値・管理の方針	目標樹形	自然樹形型	樹姿	円錐形
	目標方法	剪定回数	夏剪定	冬剪定
		剪定時期	7月	11月～12月
	管理方針	樹高と枝張りをそろえる 先端のコブを切り取り、自然樹形となるよう樹形を整える		
	目標理由	周辺景観とのバランスをとるため、樹高や枝張を大きくする 落葉後の樹姿を整える		
	問題点	市街地での作業のため、車両や歩行者への配慮が必要 地元町内会から落葉苦情のある		

空間条件（剪定前の状況）

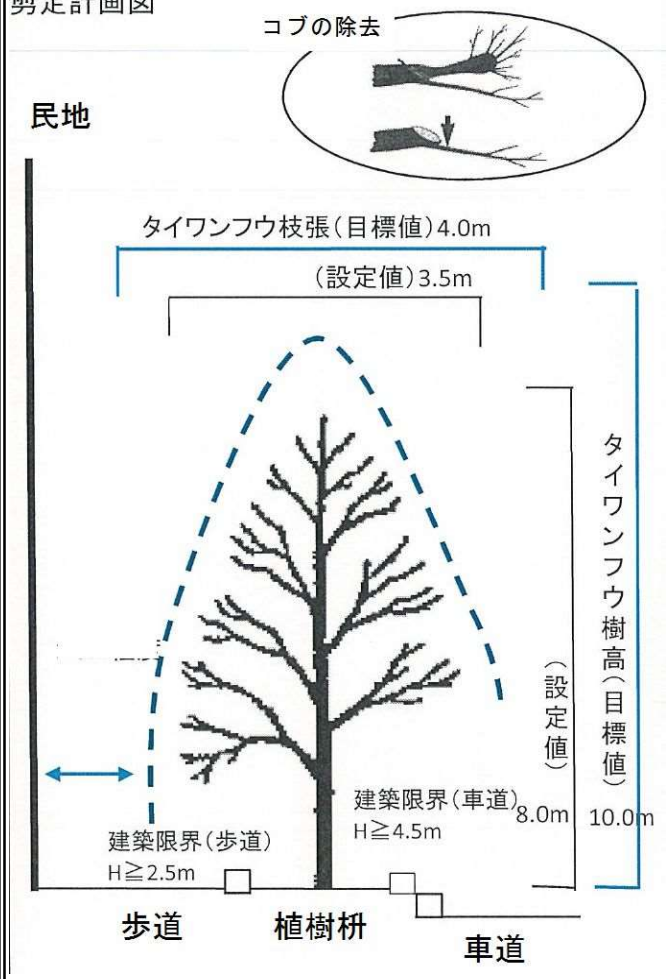
車道幅員	25m	歩道幅員	5.5m	植樹枡幅	1.0m	高圧線高	12m
沿道状況	市街地	ｸﾘｱﾗﾝｽ	1.0m	車線数	4車線	低圧線高	6m
植栽間隔	7－10m	車道から幹までの幅	0.8m	中央分離帯	あり（1.5m）	光ﾌｧｲﾊﾞｰ高	8m

目標樹木設定

現況樹木値	樹高	8m	枝張	3.5m	幹周	0.8m
目標樹木値	樹高	10m	枝張	5m		

標準樹現況写真

剪定計画図



業者名	桃太郎造園		
作成者	岡山　桃太郎	作成年月日	H30.6.10